

令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 5年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○言語についての知識・理解・技能の向上 漢字の定着	○言葉の特徴や使い方を身に付け、活用できる授業づくり（思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語いを豊かにすることができる。） ・言葉ノートを作成し、語いを増やす。 ・東京ベーシックドリルを活用する。	○どの学習にも振り返りを書く機会を設け、書く能力が高まった。 △3・4年生の漢字・言葉の復習が必要である。
社会	○社会的事象への関心・意欲・態度の向上	○社会的事象への関心・意欲・態度を高める授業の推進 ・社会科に出てくる言葉を言葉ノートに記録したり確認したりして定着を図る。 ・現地見学の機会、ゲストティーチャーによる講話、実物に触れる機会を増やす。	○社会的事象へ関心・意欲・態度が高まった。児童が自ら現地見学の機会や学習計画をつくり、知識や思考力が高まった。
算数	○小数の乗法及び除法に関わる数学的活動の向上	○四則計算ができ、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用できる授業づくり ・日常生活から教材を作り、児童の学習意欲を高め、問題解決を図る。 ・東京ベーシックドリルを活用する。	○数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用する児童が増加した。 △四則演算の技能を高める必要がある。
理科	○知識・理解の定着	○知識を意欲的に獲得し、表現できる授業の推進 ・理科に出てくる言葉を言葉ノートに記録したり、確認したりして定着を図る。 ・全単元で実験の機会、観察の機会等の体験的学習を増やす。	○意欲的、主体的に学習に取り組む児童が増加し、知識や技能の定着を図ることができた。 △思考力の向上に向けて個別指導が必要である。
音楽	○表現技能の向上	○音楽の良さを味わう中で技能を向上させる授業の推進 ・互いの演奏を聴き合う中で、重なるの良さを実感させる。 ・曲の完成度の向上、学び合いの機会の充実を図る。	○自然で無理のない声や二部合唱の良さを実感した児童が増加した。 △表現活動に個別指導が必要である。
図工	○表現を工夫して深める力の向上	○様々な材料や用具を工夫して使い、その特徴を生かしながら主題を表す力を身に付けさせる授業。 ・様々な材料や用具を総合的に工夫して使えるような題材を設定する。 ・主題について導入やワークシートなどを工夫して、考えを深めることができるようにする。	○自分なりの考えや工夫を深めようとする姿勢が増えてきた。 △技能面については、個人差があるので個別指導が必要である。
体育	○運動への関心・意欲・態度の向上等 ※前年度の体力テストデータから分析	○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、グループの課題を見付け、その解決方法や活動を工夫する授業。 ・体育学習のポイント、振り返りのポートフォリオ化を図る。 ・各単元で児童の学び合い活動を取り入れる。 ・短距離走での走力を高めるために、コーディネーショントレーニングや体幹を強化する活動を取り入れる。	○運動の楽しさや喜びを味わえる児童が増加した。グループでの交流、活動が増加し、主体的に学習に取り組む児童が増加した。 △技能の向上に向けて個別指導が必要である。